ウッディエイジ（木材の研究と普及）1987年総目次

★対談など

◦北海道の森からの素晴らしい贈り物　62．1
「あさひかわ・木の家」を語る

◦木材保存用処理薬剤の現状　62．2
―主としてクロルデン，ＣＣＡおよび新規防腐剤について―

◦育林と間伐材利用に打ち込む　62．3

◦シリーズ　化学加工で木材の需要拡大を図ろう　62．4～7
（１）木造住宅と火災
（２）木材の防腐処理
（３）ＷＰＣの性質と利用
（４）木材のガス化と可溶化

◦地場工業デザイン高度化特定事業　62．5
「木製屋外施設のデザイン開発」

◦ログハウス・屋外木製施設に懸けて　62．8

◦これからの家具業界の課題　62．9

◦木材乾燥の将来展望　62．10

◦信頼性高い材料供給へ　62．11
―木材の品質管理検討会から―

◦木とデザイン　62．12
―第19回日本木材学会北海道支部研究会―

★特　集

林産試験場の成果　62．1
新しい林産試験場の出発にあたって
材　質
林産機械
経　営
製　材
乾　燥
集成・複合・加工
木構造の設計と性能
単合板
接着・塗装
化学加工
防腐・防虫・防火
木質ボード
木質-無機質系ボード
化学的利用
食用菌
理化学的利用

林産試験場移転整備　62．5
新しい酒を新しい皮袋に
試験場への期待
整備の概要
新しい試験研究のすすめ方
指導普及のあらまし

日曜大工のすすめ　62．6
日曜大工は人の心を豊かにする
小型ベンチを作ってみよう
図面を書く
材料を選ぶ
必要な道具と使い方
木をつなぐ
仕上げる

木材乾燥　62．10
木材乾燥室の自動制御システム
木材乾燥における新しい狂い防止法
木材乾燥に簡易集熱式ソーラーシステムを生かす
―季節別乾燥特性について―
アメリカの乾燥法別広葉樹乾燥コスト試算

木造住宅の保守管理　62．12
住宅を長持ちさせるために
―新築の際に気をつけたいこと―
木造住宅のチェックポイント

業者が手掛けた補修・改造の実例集

★総　説

◦建築と木材の接点　62．2
◦建築と木材の接点（続）　62．3
◦木材の復権　62．7
◦北欧の木材利用と木材工業に学ぶ　62．8
◦欧米に学ぶ新たなる木材成分の利用研究　62．9

★研究の解説・紹介

◦木質粗飼料の品質はどのくらいバラツクか　62．2
◦木造住宅の壁内結露は通気層によって防止できる　62．3
◦粉砕機のえらび方②　62．3
　目皿つきハンマークラッシャー
◦短尺単板を利用した新しい材料〝単板積層板（ＬＶＢ）〟の開発　62．4
◦道南スギ間伐材を原料とする木質セメントボードの製造　62．4
◦ＣＣＡ処理材を使ってパーティクルボードを造る　62．4
◦道産広葉樹材の利用実態調査　62．7
◦木材を自在に曲げる　62．8
　―アルカリ処理による木材の可塑化―
◦アカエゾマツの材質　62．8
◦〝くるい〟がなく，腐らない木材処理法の開発　62．9
　―パーティクルボード，窓枠，床材などに適した処理―
◦木質飼料の副産物　62．9
◦マイコンを使って製材歩留まりを予測する　62．11
◦プレス乾燥による狂い防止について　62．11
◦ナミダタケ被害対策としての防腐処理と土壌処理　62．11
◦空調施設によるマンネンタケ（霊芝）の栽培62．11

★技術情報

◦北米の広葉樹乾燥（２）　62．2
　～プリドライヤーについて～
◦建築基準法の一部改正　62．11
　―木造の制限緩和―

★林産試情報（林産試験場報・研究報告・試験研究機関共同報告書・実証事業報告書等の紹介）

◦綱板ボルト締め集成材フレームの非線形解析62．2
　―新林産試験場集成材フレームの実大部分実験について―
◦組立柱の座屈耐力計算法　62．2
◦低質未利用広葉樹材の有効利用（第１報）　62．2
　―パルプ原木の実態調査及びミズナラ材の集成ブロック化試験―
◦木材のフィンガー切削について（第２報）　62．2
　―切削抵抗と被削面の性状に及ぼす切削工具の送り方向と木材の繊維方向とのなす角度，切削工具の枚数と重ね合わせ条件の影響―
◦木材のフィンガー切削について（第３報）　62．3
　―工具切れ刃の摩耗量，フィンガー形状の加工精度などに及ぼす送り速度の影響―
◦カラマツ樹皮抽出物の木材接着剤への利用（第７報）　62．3
　―ホローファイバーモジュールによるアルカリ抽出液の濃縮―
◦木質飼料の製造に関する研究（第３報）　62．3
　―蒸煮による抽出と消化性の影響―
◦木質廃材のペレット化（第１報）　62．3
　―成型，流動性試験―
◦針葉樹中小径丸太・タイコ材の強度試験　62．5
◦ツイン帯のこ盤によるカラマツ梱包材木取り試験　62．5
◦間伐針葉樹材の単板歩留まりと接着性　62．5
◦林産試験場の昭和61年度試験研究成果の概要62．7
◦林産試験場の昭和62年度試験研究業務の概要62．7
◦山火再生林ウダイカンバの材質　62．9
◦木製断熱窓の開発（第２報）　62．9
　―生産システムの検討及び性能評価―

◦北海道におけるＣＣＡ処理防腐土台の品質管理　62．9
◦木質飼料の製造に関する研究（第４報）　62．9
—製造条件に関する研究—
◦幾寅産カラマツ人工林材の材質　62．11
◦カラマツ原木の蒸煮処理による単板切削試験62．11
◦耐水性パーティクルボードの製造（第１報）62．11
—マレイン酸／グリセリン混合物水溶液処理について—
◦カラマツＬＶＬの水に対する性質（第４報）62．11
—２年間の屋外ばく露と木口保護処理の効果—
◦カラマツＬＶＬの強度性能に関する研究　62．4
◦蒸煮による素材化のための最適条件の検討（Ⅱ）　62．4
◦美深林務署新庁舎建設事業　62．4
◦新しい北国型公園施設（遊具・設備）の開発62．4
◦カラマツセメントボードの複合化技術に関する研究　62．5

★技術のおたずねにこたえて
◦なぜ木材がエサになるか　62．2
◦乾燥むらの原因と対策　62．10
◦スギ材木製品の接着　62．11
◦生材に巣くう虫　62．12

★行政の窓
◦特定地域中小企業対策臨時措置法　62．2
◦不振の木材業界にあって気を吐く道産〝集成材〟　62．3
◦昭和62年度の北海道木材需給見通し　62．4
◦一般製材業の構造改善計画　62．5
◦木製屋外施設のデザイン開発　62．6
◦道内の集成材生産実態　62．7
◦農林漁業信用基金の設立　62．8
◦カラマツ立木の市場動態調査　62．9～10
◦加速的技術開発支援事業のあらまし　62．11
◦苦境の道産パルプ材　62．12

★内外の話題
◦新タイプの無機質複合化木材　62．9

★その他
◦巻頭言　新春を迎えて　62．1
◦昭和62年度林産試験場の試験研究のあらまし62．7
◦協会記事　62．11
◦木材価格の動き　61．1～12
◦グラビア　林産試験場の１年　62．12